

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北関東)	良くなる	自動車備品販売店（経営者）	・株価なども上がり、客のムードも若干変わってきている。車などの購入にも、意外とお金を出す傾向にある。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・4月からの新入生用の販売が2月から始まるが、毎年2、3、4月とだんだん良くなっていくため、良くなると思う。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新内閣の経済対策に期待したい。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新政権になり、株やそのほか明るいニュースが出てきたことによって、企業業績も良くなり、給料も増え、少しでも物が売れてくるように期待を込めてやや良くなる。
		百貨店（店長）	・景気浮揚の期待感に合わせ、購買意欲が出て、新しい物を探している様子が見られるため、マッチした商品を投入することで、売上につながっていくと考えている。
		スーパー（店長）	・春先に店舗前の道路工事が終わる予定のため、客数増加が見込め、今以上に成績は上がると思う。
		コンビニ（経営者）	・少しずつ春めいて暖かくなってきた。バレンタインや節分、ホワイトデーといったイベントも目白押しである。早め早めの品ぞろえ、きめ細かい品ぞろえで対応していけば、何とかなるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・春の訪れとともに、人出も増える。また購買意欲も上がるかもしれないという期待を込めて、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・幼稚園、小学校等の近くに店舗があるため、4月から年度が替わり、客数は増えると思う。
		衣料品専門店（統括）	・本来、この時期はほどほどに客が買物に来るが、ここ数年は来客数が減少傾向にあり、今年は特にひどい状況である。この先どうなっていくのか、本当に心配である。
		家電量販店（店長）	・地上デジタル放送化による特需の直接的な影響は3月で終わると見込んでいるので、テレビの販売台数が4月から前年を上回ると予測しているが、テレビの販売量が元に戻るのには2年ないし3年はかかる。
		一般レストラン（経営者）	・年度末で各種会合が増えてくると、観光シーズンになり、来客数が増える。
		スナック（経営者）	・客と景気が良くなりそうだと話をすることが多くなった。少し前までは考えられなかったことであり、期待感があるというのは間違いない。
		観光型ホテル（経営者）	・やや良くなるであろうとの期待である。
		都市型ホテル（支配人）	・当地域の梅祭りが2月中旬から始まり、3月まで続く。例年より県及び観光協会が力を入れて宣伝活動、誘致活動をしているため、期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・政権交代により、少しは良くなるのではないかとと思うが、非常に微妙なところである。これから徐々に景気は回復していくと思うが、一時的なことかもしれないため、何ともいえない。
		都市型ホテル（営業担当）	・1月は例年に比べて稼働の数字が悪く、非常に厳しい状況である。しかし今が底であるため、2、3か月後は上がってくると思う。景気が少し上向きという雰囲気があるため、それが後押しすれば良くなるのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	・アベノミクスの効果に期待している。
		旅行代理店（所長）	・これからの世界情勢等にもよると思うが、景気上昇への期待感が持てる。それにしなげ消費力にも弾みが出ることを期待したい。
		旅行代理店（営業担当）	・春になれば旅行シーズンとなり、国内、海外共に販売量が増加する見込みである。
通信会社（経営者）	・年度末に向けての大口案件の見積依頼や、入札が増えている。2、3か月後は、少しは安定する兆しがある。		
通信会社（局長）	・アベノミクスの政策実行後の実態を見ないと分からないが、景気に対する期待感には確実に高まっている。		
通信会社（販売担当）	・政権交代し、景気が回復するのではないかと期待している。実質的な景気対策が進み、長期的に改善してくれることを望んでいる。		
ゴルフ練習場（経営者）	・株価の上昇や、建築の受注の様子などから、やや良くなる。		
ゴルフ場（業務担当）	・当地区では雪の被害が結構あったが、当地においてはあまり影響がなく、来場客数は前年比を大きく上回っている。客のニーズは高く、顧客の取り込みは前年よりも上手くいっているが、単価が下落している。総体の売上は、入場者でカバーして、何とか前年比の実績を上回ることができている。春の取り込みも今のところ、順調である。		

	設計事務所（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要による依頼などもあり、仕事量は増えると思う。
	住宅販売会社（従業員）	・株高などから若干ではあるが、高額品の消費が増加するのではないかと期待している。
	住宅販売会社（経営者）	・消費税増税導入の予定時期が1年後となり、焦って物件を探し始める顧客もおり、販売数量の増加が見込まれる。需要の先食いにはなるが、景気全体にとっては良くなる要因である。
	住宅販売会社（従業員）	・税制面からの効果もあり、販売は堅調に推移すると思う。しかし、施工管理者の不足が深刻な問題となりつつあり、一部の部門では、要求される工期に応えられない状況にある。
変わらない	商店街（代表者）	・政府のうたい文句のとおりに行っても、地方が良くなるのは何年先だろうか。当店の学生靴等は、お下がりが多くなっており、良くなるのは随分先のことである。
	商店街（代表者）	・新聞記事を眺めながら景気回復に期待を膨らませているが、現実に戻ると上向きの気配が感じ取れない。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・近隣の中型スーパーも撤退という話が出ている。まだ寒い日が続くと思うため、人出はあまりない。新政権の政策の効果は、当分先のことと考えているため、変わらない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・燃料費が高騰していくなかで給料は上がり、生活費が掛かっている分、品物の購入は控えられている傾向が見られる。生活に精一杯で物への購入意欲は見えてこない。
	百貨店（営業担当）	・政権交代により、株価は上がり調子になっているため、景気回復の期待感はあるが、実際に消費が上向いてくるのは、まだまだ先になるかと思う。
	百貨店（販売促進担当）	・今後数か月は気候頼みの感が強く、長引く寒さにより春物への関心が低くなりがちで、年々春物商戦は難しくなっている。また、実用第一で、価格にもシビアで相変わらず財布のひもは固く、この傾向は大きく変わらない。
	百貨店（販売促進担当）	・春物商戦が始まるが、依然として慎重な消費行動は継続する。
	百貨店（販売担当）	・今春、特別大きな改装を予定していないため、大きく入店客数が増えることはない。日々の提案をしっかりと行うことで前年並みを予想している。
	百貨店（店長）	・新政権への期待はあるが、期待どおりになるか未知数である。
	スーパー（経営者）	・生活必需品関連は、デフレ脱却とはほど遠い感がある。軽減税率が絶対に必要である。
	スーパー（店長）	・曜日ごとの客数の変化はない。
	スーパー（総務担当）	・景気上昇の雰囲気はあるが、実際に各世帯の収入が増えないと購買意欲は高まらない。また、多少所得が増えても年金を含めた社会保障の先が見えないと、貯蓄への傾向は続くと思う。
	スーパー（統括）	・マスコミの景気報道や株価、為替の変動によって、消費マインドは一喜一憂し、その振れ幅も大きく、安定した景気回復を実感するにはまだ時間が掛かりそうである。
	スーパー（商品部担当）	・良くなる理由がなく、今後、消費税増税などもあり、消費者の購買意欲が上がる要素が見えない。
	コンビニ（経営者）	・店前の道路の4車線工事が、長期間かかるためである。
	コンビニ（経営者）	・政権交代や円安と好材料は多いと思うが、これを受けての景気の好転には、まだ至らないと感じる。
	コンビニ（店長）	・今月に関しては原因が今一つ把握できていないが、客数が減っている。客単価は下がっていないため、今後、あまり変わっていくとは思わないが、原因がはっきりするまでは分からない。
	衣料品専門店（店長）	・為替相場が円安に振れているうえに、株価も上昇傾向の状態が続けば、一般消費者の収入も増え、景気が上向きに動いていくだろうが、政府や自治体の借金に頼っている予算編成体質は変わらず、日本経済の将来を考えると、不安要素が多いため、現金は使わずにおこうという心理になるため、安易に景気は上向かないと思う。
	衣料品専門店（販売担当）	・2、3か月前から、今までの悪い横ばい状態ではなく、幾分波が出てきたという話をしているが、それが今月は全く感じられない。景気浮揚策がどんどん打ち出されているが、現場に影響するのは相当先である。現実的に客が安心できない環境なのか、やはりまだ先行きが不透明ということがあるのか、消費には全く向かっていない。
	乗用車販売店（統括）	・現状がそこそこ良いため、このままの状態を維持できるのではないかと。
乗用車販売店（販売担当）	・先月から来客数が大分増えている。活発に客が動いているため、ずっと続くと思う。	

乗用車販売店（営業担当）	・ガソリン価格の高騰を含め、より燃費の良い車を求めるユーザーが目立つが、慎重な態度に変わりなく、販売台数は現状維持がやっとである。	
乗用車販売店（販売担当）	・特別景気が良くなる、または冷え込む等、この時点ではさほど変わらないと思う。2、3か月後でも新車の伸びは望めないが、中古車はそこそこ売れていくため、前年と同じような状態がずっと続くのではないかと。	
住関連専門店（経営者）	・企業の給与水準、あるいはベースアップすることが確定する4月以降にならないと、実際の消費には結びつかないと思う。したがって、ここ2～3か月では消費に関する大きな変化は起こりづらい。	
住関連専門店（仕入担当）	・為替相場が急激に円安に振れ、今後商品の仕入価格に影響を与える水準となっている。価格に転嫁せざるを得ない商品も出てくるのが予測され、厳しい環境が続く。価格が上がり、物が売れない状況になる。	
一般レストラン（経営者）	・政権交代により、デフレ脱却を通じた景気浮揚策を講じようとしているが、末端の中小零細企業にまで影響を及ぼすのは、まだまだ時間が掛かると思う。	
一般レストラン（経営者）	・予約客は多少増えたものの、個人客の動きはこの先も変わらない。	
一般レストラン（経営者）	・強い経済を掲げ、政策が進められようとしているが、国民がどう受け止めているのか疑問が多い。特に地方、中小企業への好転は見られるのか不安で消費を差し控えているのではないかと。	
スナック（経営者）	・悪いまま変わらない。新政権になったが、末端の景気回復はいつのことになるのか。少しは期待したいが、何か良い策があったら教えてほしい。	
観光型ホテル（営業担当）	・新総裁に期待はしているものの、観光事業、宿泊業への影響は数年後となり、直ちに感じることはない。	
観光型旅館（経営者）	・依然として集客の動向は鈍いため、今後も極端に改善はしないと思う。	
タクシー運転手	・現在最悪の状態のため、これ以上悪くなると生活ができない。	
タクシー運転手	・大きく変化する様子はない。	
通信会社（総務担当）	・政府の景気対策に期待したいが、消費者に反映されるには、まだ時間が掛かりそうである。	
テーマパーク（職員）	・少しずつ回復しているように思えるが、余暇に対する消費には依然として結びついていない。	
遊園地（職員）	・回復基調を期待したいが、先行き不透明な状況が続いている。	
ゴルフ場（支配人）	・2月は厳冬期で来場が年間で1番少ない月のため、3月からの春の営業に向け、社員全員で訪問営業を行っている。	
競輪場（職員）	・他場や、他種競技の売上等もほとんど変化が見られない。	
その他レジャー施設 [アミューズメント] （職員）	・当店はアミューズメントのなかで大きく分けるとネットカフェになるが、スマートフォン、タブレットなどが普及しているため、わざわざネットカフェまで来てインターネットをする人が少なくなっている。マンガ喫茶の利用はあるが、ネットカフェはあまり振るわない。ゲーム関係では、オンラインゲームを大画面でやりたいということで伸びている。しかし、プラスマイナスしてもプラスへいくのはなかなか現状では難しい。	
美容室（経営者）	・2月の下旬から卒業式や入学式等のイベントが多くなり、少しずつ来客数が増えることを期待している。	
その他サービス [立体 駐車場]（従業員）	・春休みである3、4月は客数が増えていくが、これは例年どおりの動向である。また、まとめ買い等も含めて例年どおり売上は伸びると思うため、変わらない。	
設計事務所（所長）	・2月は稼働率が低いと、効率がよく動けるようにしないと今月より良くなることはない。来期に大きく左右される時期のため、頑張って努力しないといけない。	
住宅販売会社（経営者）	・消費税増税と同時に、不動産に対する優遇税制措置を検討してもらいたい。例えば、自動車取得税が廃止されるように、不動産取得税等も廃止してもらいたい。そういった優遇措置がなければ不動産は動かないと思う。	
やや悪くなる	スーパー（経営企画担当）	・昨年出店した競合2店舗の影響から、回復するのが困難である。
	乗用車販売店（経営者）	・例年3月以降は販売量が減るためである。
	乗用車販売店（従業員）	・軽自動車の需要が伸びているが、1台当たりの収益は減少している。
	高級レストラン（店長）	・お金を使わないことが当たり前になってきており、将来への不安感や、現実の収入アップなど、具体的に実感できるまでは、客の財布のひもは固いままである。

		スナック（経営者）	・前年に比べ、年末年始の来客数が落ち、単価も落ちている。これからまた2月に向かって先行きが不安である。
		旅行代理店（副支店長）	・前年と比較しても2、3月の受注が少なく、前年の60%くらいである。中小企業も週休3日が出てきており、海外出張も減少している。税制改革や消費税増税の駆け込み需要、併せて為替の安定を期待しているが、現状そのような形は見えていない。
		タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪い、この先も悪いと思う。
		通信会社（経営者）	・家庭用LPガス販売業部門では、現在でさえガス価格が高騰しているところに、この円安でダブルパンチである。さらには同業者間の顧客争奪が激しくなっており、保安そっちのけという業者も増えているのではないかと感じている。規制緩和も業種を考慮してもらわないと、それこそデフレを招き、保安の維持を困難にしていると思う。
		その他サービス〔清掃〕（所長）	・賞与等の減額もあり、この先厳しい状況が続いて消費は伸びない。
		設計事務所（所長）	・消費税増税が確実にされるなか、通常ならばもう少し動きがあっても良いと思うが、それだけ状況は悪いということだろうか。
	悪くなる	商店街（代表者）	・最近、商店では販売する品物の種類が少なくなっていることを特に感じる。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・政権が交代し様々な施策を打ち出しているが、即効性のあるものがなかなか出てこないため、私たちのところまでは、すぐに良い話がこないのではないかと感じている。あまり良くならないのではないかと意見が大勢である。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・まだ消費意欲が後退する雰囲気しかない。はっきりとした景気回復の兆候は、もう少し先になりそうである。
		コンビニ（経営者）	・近隣2キロメートル以内の大手スーパーでは、大売出しばかりで毎回非常な安売りをしている。そこにコンビニがまた出店しており、それが大きな原因である。
		コンビニ（店長）	・1月上旬、中旬は、何とか良かったが、当店の近隣に同じチェーンの新店がオープンして、かなりの影響が現在出つつある。この影響はかなり深刻で、地域的に商業力がかなり低下していくと思う。
企業動向関連 (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・環境機器装置、主に行政納入のスプレー缶、ライター処理装置は、3～10月が製作納入時期である。また今現在、半メガソーラー太陽光発電3か所設置工事の電力会社への申請中であり、来月くらいから設置等で忙しくなる。電気工事等地域活性化により、地元企業に貢献していく。
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・3月の観光シーズンに入るところには、高速道路のトンネル事故の状況も回復し、また、経済状況も回復してくるため、業界の出荷増、売上増が期待できる。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・良くなることを期待している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安傾向のため、輸出が増えると思う。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・総理の発言により、円も大分安くなり、株価も上がってきたため、これから2、3か月先は徐々にやや良くなるのではないかと。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーからの生産の3か月見通しでは、1月と比べると、2、3月が大幅に伸びて3月がピークとなり、量的には非常に回復基調に入る。しかし、4月になると、また20%の大幅な落ち込みがあるため、非常に先行きが不透明になってきた感じがする。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・政府の景気対策への期待度、また株価の上昇は宝飾品の販売にも良い効果をもたらしている。ただし、円安で金、プラチナ、ダイヤ等の材料物が高騰しており、その影響で商品価格の上昇が避けられないことから、今後の見通しは必ずしも楽観視はできない。
		通信業（経営者）	・新政権になり、久しぶりに景気対策が打ち出されたような気がする。失敗が許されない状況だが期待している。
		金融業（経営企画担当）	・担当地域の観光業が、シーズンに向かうためである。
		広告代理店（営業担当）	・一番慎重だった販売促進予算が動いてきており、好転することが見込まれる。
		司法書士	・正月で人と会う機会が多かったが、皆一様に明るい顔をしており、少し希望が持てるような雰囲気である。期待も含めて、少なくとも一度は必ず上向くのではないかと。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合いが増加傾向にあり、今後は受注量も回復すると思う。

変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・自家季節商材の動きはややあるものの、取引先の受注状況は見込みが立たない状況である。
	金属製品製造業（経営者）	・金属加工の仕事は大変少なくなっており、困っている。先のことは、どうなるか分からない。物品販売は、入札の問い合わせは多くあるが、単価面で落札はとても難しくなっている。努力しているが、難しいところである。
	一般機械器具製造業（経営者）	・客先の期末、期首に合わせて動くような案件の情報が非常に少ない。油圧ショベルの分野においては市場の在庫数が過剰な状況にあり、春節の時期を越えないと回復の時期が全く見えてこない状況にある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・客先のモデルチェンジが計画より遅延しているとともに、ユーザーの評価が遅れ、生産計画が遅れるようである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・政権が交代し、円高、デフレからの脱却を図り、景気回復をとのことだが、私たちが実感するのは、かなり先になりそうである。
	輸送業（営業担当）	・新年度に向かって新生活関連の白物家電や、生活インテリア雑貨の物量が、例年並みになりそうである。しかし今後は、円安傾向で原油の値上がり等により、業界的には燃料コストも上がって、利益が減りそうである。
	金融業（役員）	・新政権になり、金融政策や財政政策、また成長戦略も出てくると思うが、これらは実際に予算執行が行われて初めて需要が出るものであり、2、3か月で果たして実行されるのか非常に疑問である。予算執行、成長戦略、あるいは税制までもう少し先を見ないと分からないため、変わらない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・円安、株高に動き始めたが、小売業関係者はそろって、消費者には縁遠いと話しており、回復するにはまだ先行きが不透明であるとしている。
	経営コンサルタント	・個人向け商業、サービス業関係での消費や、企業向けサービス業での設備投資、教育投資などに期待感があるが、まだ実際の動きは見られない。
	社会保険労務士	・今のところ人員増や売上増へ見直すなど、計画の変更を考えている事業所はない。
やや悪くなる	化学工業（経営者）	・当社の製品を欲しいとの話は結構あるが、実際の注文は全くない。必要なので買いたいが、お金がなくて買えないとの話ばかりである。
	一般機械器具製造業（経営者）	・長い間受注減の一途をたどってきたが、どうやら底に達した模様である。
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注が少なく、単価も安いので、先が見通せない。円安、株高の影響が全くない。
	金融業（調査担当）	・新政権による経済対策が期待されるものの、実態経済の動きに波及してくるのは、春先以降という見方が多い。
	不動産業（管理担当）	・新年度から新規の仕事をやらないかとの話はあるものの、提示額が低く、とても利益の出る仕事ではないため、断らざるを得ないことが多い。当社がギリギリの額で提示しても、それを下回る金額で提示してくる業者がいるようである。売上高を求めて赤字の仕事を取るよりは、利益が出る仕事をやるようにしていきたいが、そのような仕事の話がなかなかこないのが現状である。
悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・円安に振れ、原料単価の急激な上昇を招き、デフレ脱却の糸口は見えない。相当の赤字になるのではないかと、不安の毎日である。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・売上が伸びず、なかなか利益が出ない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・年度内は、各メーカーが余分に作らず、在庫を持たないようにするため、特急品は出ると思うが、全体的に抑えると思う。政権交代により、景気浮揚の策が打って出るのは半年後ぐらいになるため、それまではかなりきつい状況が続くと思う。
	建設業（開発担当）	・数年間、設備投資が前年を下回っていたが、今後は政府の経済政策が大きく切替わるため、大変期待している。特に公共投資に力を入れているため、末端まで少し時間はかかるが、大いに期待している。
雇用関連 (北関東)	良くなる やや良くなる	—
	人材派遣会社（経営者）	・住宅関連の製造業、建設業者の動きが年度末に向けて動きが少しずつ出てくると思う。製造業でも自動車、携帯電話関係の電子の動きが出始めているようである。これは実数ではなく、周辺企業の様子から把握したものである。販売も、春物、新学期に向けて物の流れが幾分出てくるのではないかと期待している。
	人材派遣会社（経営者）	・長く取引のある会社で突如仕事の量が増えたため、2～3か月先は仕事が多いことを把握している。

	人材派遣会社（営業担当）	・政権交代による経済対策に、期待している。
変わらない	人材派遣会社（管理担当）	・派遣社員の採用と契約終了の件数がほぼ変わらない。厳しい状況だが、問い合わせ等採用の動きはある。
	職業安定所（職員）	・建設業の専門技術職の求人は増えているが、土木作業を希望している求職者とのミスマッチがある。また、今月大量離職した求職者の製造業における求人が、回復の見込みが立っていないため、職種転換しない求職者は、滞留してしまうと思う。
	職業安定所（職員）	・大きな人員整理の発生は以前に比べて鎮静化してきているが、事業所側の雇用への動きは鈍いままである。春までに大きな変動はなさそうである。
	民間職業紹介機関（経営者）	・製造業において、IT系は全く振るわないが、自動車関係は堅調な動きが続いている。土木、建築に活発な動きが見え始め、おう盛な求人となりつつあるが、一般製造から土木、建築への人員シフトが困難なため、比較的シフトが容易なサービス業の活性化が期待される。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人はあるが、実際に受験してみると合格基準が高く、採用者ゼロで再度求人が出されている状況が続いている。企業側もできるだけスキルの高い職員を募集している。景気回復による採用は、まだしばらく掛かりそうである。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・企業からの情報等から考えると、まだ中国尖閣諸島問題が大きく影響している。また、雇用保険受給者の増大、滞留も見込まれるため、悪い状況が続く。
	職業安定所（職員）	・12月の新規求人数は、前年同月比5.3%の増加となっているが、先月の新規求人数と比較すると、29.6%減少となっている。管内企業を訪問して現況について数社確認したところ、仕事量は変わらないものの、コスト面での価格競争が厳しい状況である。また、現時点で仕事量は3月ぐらいまではあるものの、その後についてははっきりしない面があるとのことである。特に管内企業において合併や事業統合などがあり、その影響から仕事量的にも厳しいと考えている企業が多い。
悪くなる	—	—